

営農だより

畦畔除草を
徹底しよう!!

飽水管理、畦畔・農道等の除草を徹底しよう!!

- 中干し後の飽水管理で根の活力維持を図りましょう。
- 7月上旬までに畦畔・農道等の除草を行い、カメムシ類の生息地をなくしましょう。

ゆめみづほの出穂時期は平年より2日程度早くなる予想です

5月中旬～6月上旬の高温で、草丈は長く、茎数も急激に増加しています。

中干しの確実な実施と生育に応じた水管理で品質低下を防ぎましょう。

生育調査結果(コシヒカリ)

	6月9日現在	前年度
草丈(cm)	35.9	31.5
茎数(本/株)	17.6	15.6

※市内20箇所の観測田データの平均値

中干し期間は

ゆめみづほ 6月25日

コシヒカリ 6月30日

ひゃくまん穀 7月5日

頃まで実施しましょう!



出穂予想(6月12日現在)

	令和8年度	参 考	
		令和7年度	平 年
ゆめみづほ	7月13日～15日	7月14日	7月16日
コシヒカリ	7月23日～25日	7月23日	7月26日
ひゃくまん穀	7月31日～8月2日	8月3日	8月3日

※今後の天候次第で変動することがあります。

早生の穂肥施用(10a当り)

※基肥一発肥料田で茎数が少ない場合:分施の1回目と2回目の中間の時期に窒素成分で1kg/10a以内で追肥する。

品種名	区 分	分 施		穂肥一発肥料
		1回目	2回目	
ゆめみづほ 出穂予想 7月13～15日	施用時期	6/20～6/22 出穂23日前	7/3～7/5 出穂10日前	6/20～6/22 出穂23日前
	1回目の施用基準	幼穂長:1.5mm 葉色:4.0	—	幼穂長:1.5mm 葉色:4.0
	一般米	優米味(ゆめみ) R (16-5-10) 15～17kg	優米味(ゆめみ) R (16-5-10) 15kg	有機入 いしかわ穂肥一発055 (20-5-15) 20～25kg
	加工用米等	化成肥料 14-14-14 (14-14-14) 20kg	化成肥料 14-14-14 (14-14-14) 20kg	

穂肥施用時の
注意事項

- 圃場によって生育の差があるので 幼穂長(1.5mm) を必ず確認してから施用すること。
- 地力の高い圃場や転作後の圃場では施用量をやや少なくすること。

パレットの返却にご協力ください!!

納屋などに資材等配送時に使用した未返却のパレットはありませんか? パレットが不足しており、配送に影響が出ておりますので返却にご協力お願いいたします。なお、返却受付は、本店営農業務課で行っていますのでよろしくお願いいたします。

裏面につづく

生産履歴記録簿を記帳しましょう!

カメムシの被害粒防止は「畦畔除草」+「本田の一斉防除」

■早生の上乗せ追肥（一発体系）

～上乗せ追肥の実施について～

高温登熟が予想される場合、基肥一発肥料を使用した圃場でも、上乗せ追肥を実施することにより後期栄養凋落を防止し、品質・食味を維持しつつ増収が期待できます。

※穂肥分を増量した基肥一発肥料（早生一発くんNEO・早生一発くんDX28）は上乗せ追肥は原則不要です。

基肥一発肥料	上乗せ追肥（追加穂肥）		
肥料名（成分N-P-K）	肥料名（成分N-P-K）	施肥量（10a）	窒素（N）量（10a）
BB早生一発くんDX28（28-13-9）	優米味R （16-5-10）	原則不要	—
BB早生一発くんNEO（28-7-9）		原則不要	—
BB新早生一発くん（24-15-8）		7kg	1kg

※出穂7日前（7月6日～8日頃）までに施用してください。

■病害虫の適期防除をしましょう！（随時防除）

病 害 名	薬 剤 名	散布量（10a）	使用時期	注 意 事 項
稲こうじ病	Zボルドー粉剤DL	3～4kg	出穂10日前まで	常発田で散布
いもち病	ブラシン粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで	2回以内。但しノンブラストレバリダ粉剤使用時は1回
紋枯病	バリダシン粉剤DL	3～4kg	収穫14日前まで	株元に薬剤が十分に届くように散布
イネアオムシ （フタオビコヤガ）	トレボン粉剤DL	3kg	収穫7日前まで	発生時に散布
カメムシ類	スタークル豆つぶ	250g	収穫7日前まで	カメムシ多発圃場にシャクで投げ込み散布 湛水散布

青田講習会の開催

稲作部会協議会主催で下記のとおり講習会を開催します。講習会では、水稻圃場農業情報提供サービス「アグリルック」を利用した生育予測等も行う予定です。どなたでも参加可能です。ぜひご参加ください！！

日 時 令和8年7月9日（木）
午後1時30分より

場 所 JA加賀やすらぎ会館前圃場

内 容 ①出穂期の予測について
②今後の水管理について
③その他

